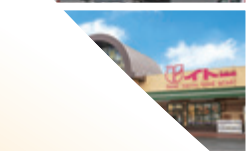


第60期 中間報告書

2020年3月1日～2020年8月31日



グループ紹介



八ヶ岳連峰経営について

お客様との距離を短く保ちながら、スピーディな経営判断を実現するため、アークスグループは富士山のように高くそびえる大きな一つの企業体ではなく、八ヶ岳連峰のように同じような高さの山々が連なる企業連合を目指しています。



グループ理念

アークスグループは、地域のライフラインとして
価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

グループ理念は、アークスグループがどのような領域で、どのような使命を持ち、目標を果たすのかを明確にしたもので、私たちが活動するうえでの考え方の基本となるものです。

グループ運営方針

- ① お客様第一主義の徹底
- ② 「八ヶ岳連峰経営」による運営
- ③ 健全な経営と着実な成長
- ④ ロープライス、ローコストの追求
- ⑤ 情報の公開とコンプライアンス

ご挨拶

私たちアークスグループは、2002年11月より運営方針である「八ヶ岳連峰経営」のもと、北海道および東北地方のグループ各社と共に、地域に密着したスーパーマーケットを中心とした流通企業グループとして、着実に成長を続けてまいりました。

2020年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、日本国内においても緊急事態宣言の発出により、社会・経済活動が大きく制限され、私たちの生活環境は一変致しました。

食品小売業界においても、外出自粛に伴う「巣ごもり消費」による内食需要が増加した反面、景気後退により更なる消費マインドの停滞から節約志向、低価格志向の傾向は強まってきており、経営環境は一層厳しくなることが予測されます。このような状況のもと、アークスグループは、地域のライフライン企業として安定的に商品を提供し続けるため、営業を継続してまいりました。今後も、新型コロナウイルスとの共存を前提とした新しい生活様式、新常态(ニューノーマル)が浸透していく中、お客様の強まる価格志向に対応していくためにお客様がお求めになりやすい品揃えと価格政策を強化・徹底してまいります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

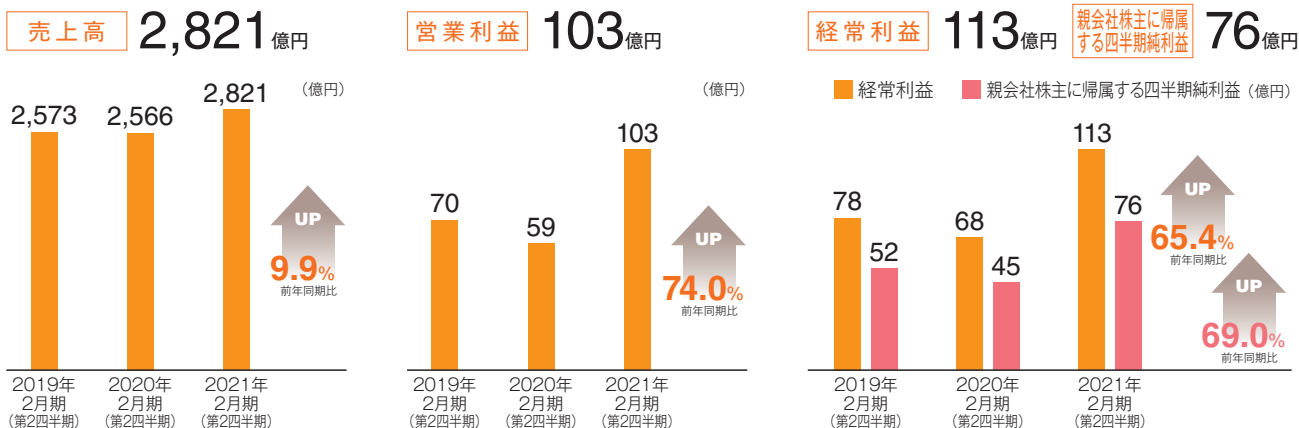


代表取締役会長
三浦 紘一



代表取締役社長
横山 清

第2四半期(累計)業績推移





代表取締役社長
横山 清

人生百年時代 利他心を要し先端技術を培い 全体最適の社会めざし協働する。 令和二年元旦 社長 横山 清

Q.1 今年度上半期を振り返って、どのような状況でしたか。

A.1 新型コロナウイルス感染拡大により多くのビジネスが停滞する中でお客様が必要とされる商品・サービスを提供しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、アークグループはお客様並びに従業員の安全・安心や健康面を最優先に様々な感染拡大防止策を講じた上で、地域のライフライン企業として営業を継続してまいりました。また、当社および株式会社バローホールディングス、株式会社リテールパートナーズの3社間で結成した「新日本スーパーマーケット同盟」につきましては、加工食品メーカー様と「No.1プロジェクト」企画を実施した結果、販売実績日本一を達成した複数の商品を創出することができました。今後も各社の経営資源や経営ノウハウを有効活用し、地域に密着した独立系食品流通企業の結集軸として新日本スーパーマーケット同盟の提携メリットを拡大してまいります。

Q.2 今後の見通しや、取り組みをお聞かせください。

A.2 新基幹システムの持つメリットを一日も早く実現し、新時代にふさわしい企業組織を築きます。

2019年10月に本格稼動した新基幹システムは、グループシナジーを一層向上させることを目指して情報分析機能の活用に取り組んでおり、今後は新基幹システムを活用した業務改革（いわゆるデジタルトランスフォーメーション=DX）を推し進め、グループの全体最適と事業子会社の部分最適の両立を図ることで、新基幹システムの導入効果を確実に創出してまいります。

通期見直し	売上高	5,450 億円	5.0% UP ↑	経常利益	173 億円	26.2% UP ↑
	営業利益	155 億円	28.1% UP ↑	親会社株主に帰属する当期純利益	103 億円	49.9% UP ↑

※通期見直しは2020年10月13日に公表した修正予想であり、比率は前年同期比であります。

新型コロナウイルスと共存する「新しい日常」で、アークスグループの各社では様々な取り組みを実施しています!

アークスグループは、行政や業界団体から出される要請やガイドラインに則り、お客様・従業員双方の安全や安心を守るための様々な手段を講じながら、地域のお客様のライフラインとして営業を継続しております。グループ各社では、店内掲示やホームページで、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを公表しています。今後も、「新しい生活様式」を実践するため、お客様との接触機会を減らすキャッシュレス決済を推奨する他、キャッシュレスレジや無人レジの導入に向け検討を進めてまいります。



(株)ラルズの取り組み



(株)ユニバースの取り組み

今後も新規出店・改装により、更に地域へ密着した商品・サービスを提供します!



新規オープン (株)道北アークス
「スーパーアークス豊岡3条」



新規オープン (株)伊藤チェーン
「イトーチェーンゆりあげ食彩館」

アークスグループの一員である(株)道北アークスが2020年6月20日に「スーパーアークス豊岡3条」、(株)伊藤チェーンが同年7月1日に「イトーチェーンゆりあげ食彩館」をそれぞれ新規オープンしました。また、(株)ラルズが2020年3月20日に「スーパーチェーンシガ真駒内店」を「ラルズマート真駒内上町店」に業態変更し、改装オープンしたことを含め、アークスグループ全体においても、店舗改装を6店舗で実施しました。今後も、より便利で魅力的な店舗を目指し、お客様の豊かな暮らしに貢献してまいります。

「ファベックス惣菜・べんとうグランプリ2020わが社自慢の惣菜部門」で金賞を受賞しました!

アークスグループの一員である(株)ユニバースが製造・販売を行っている「青森はうまい 海苔さば弁当」と、(株)道北アークスが製造・販売を行っている「わんぱく満腹弁当」が、ファベックス惣菜・べんとうグランプリ2020^(※)わが社自慢の惣菜部門において金賞を受賞しました。(株)ユニバースおよび(株)道北アークス惣菜部門では今回の受賞を励みに、より一層お客様に喜んでいただける商品の開発を続けてまいります。

(※)日本食糧新聞社が主催する、中食業界の振興、中食事業者の商品開発・販売促進の応援を目的としたコンテスト。



(株)ユニバース
「青森はうまい 海苔さば弁当」

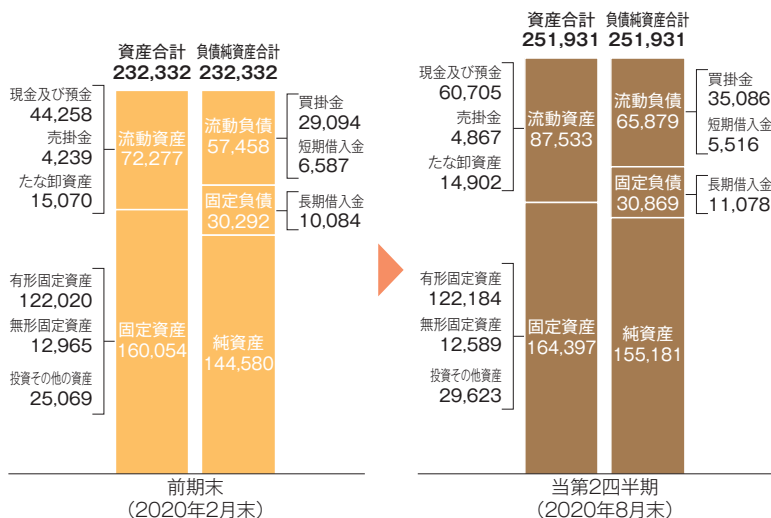


(株)道北アークス
「わんぱく満腹弁当」

連結財務諸表概要

Consolidated financial statements summary

第2四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結貸借対照表のポイント

総資産2,519億31百万円(対前期末比8.4%、195億99百万円増)
負債967億49百万円(対前期末比10.3%、89億98百万円増)
純資産1,551億81百万円(対前期末比7.3%、106億円増)
⇒自己資本比率61.6%(対前期末比0.6ポイント減)

<主な要因>

- 現金及び預金が164億47百万円増、投資その他の資産が45億54百万円増
- 買掛金が59億91百万円増、未払法人税等が17億39百万円増
- 未払消費税等が11億36百万円増、長期借入金が9億94百万円増
- 利益剰余金が62億7百万円増、その他有価証券評価差額金が42億42百万円増

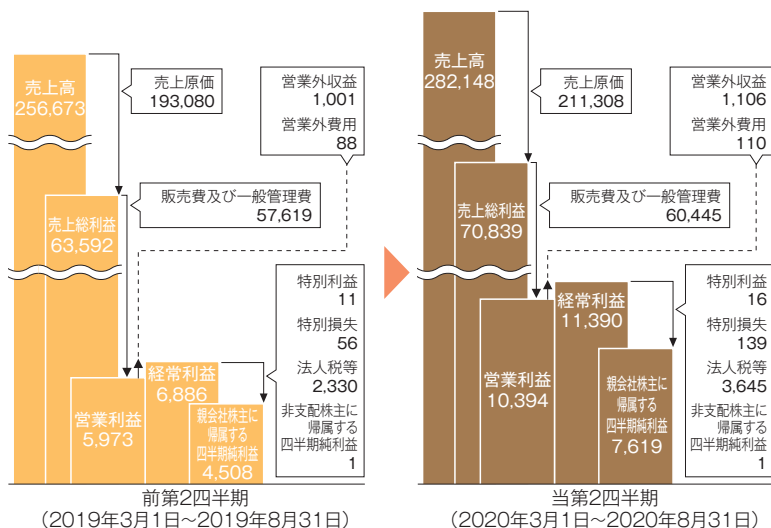
連結損益計算書のポイント

売上高2,821億48百万円(対前年同期比9.9%、254億75百万円増)
営業利益103億94百万円(対前年同期比74.0%、44億21百万円増)
経常利益113億90百万円(対前年同期比65.4%、45億3百万円増)
親会社株主に帰属する四半期純利益76億19百万円(対前年同期比69.0%、31億10百万円増)

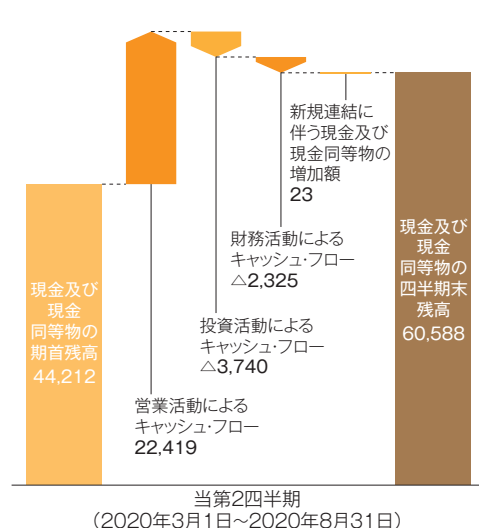
<主な要因>

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による内食化傾向のもと、お客様の来店頻度が減少する一方でまとめ買いをされる動向が続いていることから増収。
- 売上総利益、営業利益は、売上高の増加に加え、緊急事態宣言発令中に特売広告ポイント倍増セールなどの販促企画を自粛したことや、前期の9月に連結子会社となった㈱伊藤チェーンの業績貢献などもあり増益。
- 営業利益の増益を受け、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も増益。

第2四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



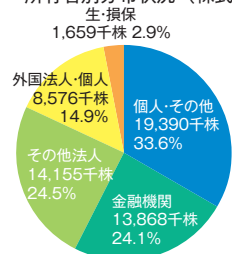
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



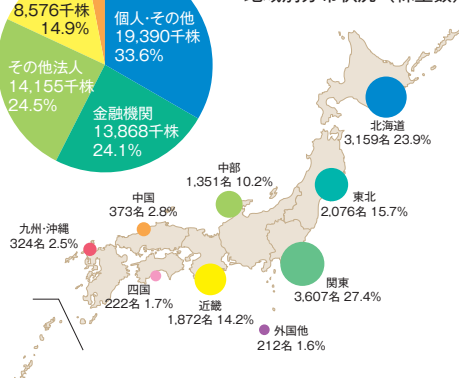
会社概要

- 商号 株式会社アークス
- 設立 1961年10月28日
- 資本金 212億5百万円
- 証券コード 9948
- 店舗数 343店舗(グループ全体、2020年8月31日現在)
- 従業員数 152名(グループ全体20,209名、パート8H換算、2020年8月31日現在)
- 本社 〒064-8610
札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
- 事業内容 純粋持株会社
(国内外の会社の株式または持分を取得、所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する)

●所有者別分布状況(株式数)



●地域別分布状況(株主数)



●役員(2020年9月1日現在)

代表取締役会長	三浦 紘一
代表取締役社長	横山 清一
取締役専務執行役員	古川 公一
取締役執行役員	六車 亮樹
取締役執行役員	小苺 米秀
取締役執行役員	福原 郁治
取締役執行役員	井上 浩一
取締役執行役員	澤田 司
取締役執行役員	猫宮 久彦
取締役執行役員	三浦 建彦
取締役佐伯 浩	佐伯 浩
取締役佐々木 亮	佐々木 亮
常勤監査役	佐々川 幸行
監査役	田守 隆智
監査役	高嶋 和範
監査役	伊東 修
執行役員	阿部 直
執行役員	松尾 直

株式の状況(2020年8月31日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000株
- 発行済株式の総数 57,649,868株
- 株主数 13,196名(前年同期比1,110名増)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横山 清一	3,033,854	5.37
株式会社北海道銀行	2,533,972	4.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,507,900	4.44
有限会社丸治	1,437,131	2.54
株式会社北洋銀行	1,415,844	2.50
株式会社パローホールディングス	1,335,000	2.36
株式会社リテールパートナーズ	1,335,000	2.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,325,500	2.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,212,800	2.14
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,117,019	1.97

(注) 持株比率は自己株式(1,169,098株)を控除して計算しております。

株主優待

日頃よりご支援いただいております株主の皆様へ、感謝の気持ちを込めて「株主優待制度」を実施しております。毎年2月末現在の株主様に対し、ご所有株式数に応じて当社グループ商品券、全国共通商品券VJAギフトカード、アップルジュース、青森県産りんごの4種類から一点とカタログギフトを贈呈しています。

※送付時期は、りんごのみ12月上旬、その他は7月中旬の予定です。

所有株式数	ご優待① or ②	ご優待③	ご優待④	ご優待⑤
100~499株	2,000円分 ^㊄	1箱 ^㊄	約3kg	
500~999株	3,000円分 ^㊄	2箱 ^㊄	約5kg	
1,000~4,999株	4,000円分 ^㊄	2箱 ^㊄	約5kg	3,000円相当
5,000株以上	5,000円分 ^㊄	2箱 ^㊄	約10kg	3,500円相当

※実際の優待品は写真と異なる場合がございます。

ご優待①~④はいずれかおひとつお選びいただけます。

ご優待①

アークスグループ商品券



ご優待②

VJAギフトカード



ご優待③

アップルジュース



ご優待④

青森県産りんご



ご優待⑤

カタログギフト



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
剰余金の配当	毎年2月末日
中間配当	毎年8月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.arcs-g.co.jp/ ただし、電子公告をおこなうことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の 証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金の お支払	上記お取扱店に加え、 みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	配当金の支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1～99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。



- 証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-288-324 (平日9:00～17:00)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9948



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社アークス 本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
TEL 011-530-1000 FAX 011-530-1010
<http://www.arcs-g.co.jp/>

